

セブ防作命第八號

防衛命令

十一月十五日

一、軍經理部セブ出張所長ハ技師一技手一ヲ明十三日ヨリ陣地構築終了迄海上輸送第八大隊長ノ指揮トシテ入ラシメ陣地構築ノ現地指導ニ任セシムヘシ  
防衛司令官 乃城目大佐

下達法 印刷交付

配布先 溝口部隊 軍經理部セブ出張所

報告先 35A 33報

陸軍

0335

陸軍

セブ防作命第九五號

防衛命令

此月十日  
島田

一 戰場補給隊長ハ義勇軍中東亞砲臺九一組

台湾鐵工所屬員ヲ沿岸守備隊長ノ指揮下ニ

入ラシムヘシ

ニ又乃第二師ヲ發令後軍經理部ヲ一時沿岸守備隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ

三 細部ハ別ニ示ス

防衛司令官 万城目大佐

下達法 要旨電話後印刷交付

配布先 沿岸守備隊長 戰場補給隊長 軍經理部

義勇軍司令

報告先

山崎

十月十日

0336

連常  
り長

下建法 印刷交付	所衛司令部	陸軍病院	セブ防空隊	大西部隊	被交付部隊	貸與區分	スハシ	一軍經理部セブ出張所長、左記區分ニ依リ土工器具ヲ貸與スハシ	所衛命令 廿二月十八日 セブ	セブ所作命第九六號
報告書先 印刷 被交付部隊 軍經理部	所衛司令官 万城目大佐	三 100	一 100	三 100	十 100	小丹 匙				
		二 100	三 100	一 100	三 100	五 100				

下建法  
印刷交付  
報告書先  
印刷  
被交付部隊  
軍經理部

陸軍

0337

セ「所作命令第九七號

所衛命令

北青島七六〇

陸軍

廿四日

一 軍經理部より出張所長ハ自動貨車四輛ヲ建築勤務第  
中隊第一小隊長ハ自動貨車二輛(運轉兵共)ヲ速カニ貨  
物支廠青木大尉ハ指揮下ニ入ラシムハシ

二 自動車支廠長ハ自動貨車二輛(運轉兵共)ヲ速カニ軍兵器  
部木下大尉ハ指揮下ニ入ラシムハシ

三 兵器部ハ自動貨車一輛(運轉兵共)ヲ明二十日九時迄ニ溝  
口部隊長ハ指揮下ニ入ラシムハシ差出期間ハ約十日尙トス

四 第一第二項ハ差出車輛ハ最小限ヲ示スモノトシ差出期間ハ約  
三週尙トス

五 細部ハ相互密ニ連絡ス

所衛司令官 万城目大佐

0338

下達法 要旨口達後印刷交付  
 配布先 貨物支廠 兵器支廠 軍經理部セブ出張所  
 報告先 軍兵器部 建築勤務第三七中隊第一小隊  
 山根

方章  
 小  
 印  
 館

0339

陸軍

口口所依命第一〇號 (尚依命十第四五號)

所倚命令

廿月二十日〇九〇

一軍經理部「セ」出張所長ハ貨物廠 兵器支廠ノ集積

及移動ニ関シ所要ノ援助ヲナスヘシ

特ニ交通路ノ補修格納洞窟ノ構築等ニ任スヘシ

二細部ハ相互密ニ連絡スヘシ

所倚司令官 万城目大佐

下達法 印刷交付

配布先 軍經理部「口」出張所 貨物支廠 兵器支廠

報告先 以 以

0340

秘

尚参事不六三〇号

一六六  
一七四〇

陸  
軍

尚作命十初四日(本月五日九時)参事令  
 一尚兵部文庫長 尚貨物廠文庫長  
 保有軍需品等ヲセカシ 西方陸地帯及  
 集積地ニ文庫ヲ移動スルニ  
 事アルハ 尚カシモ 送軍需品及一  
 部一員ヲ現任地ニ残置スルニ得  
 集積地ニ置キ 尚カシモ 陸軍司令  
 官ノ区画ヲ受クニ  
 一カシモ 防衛司令官ノ前 現補給隊軍  
 需品集積地ニ置キ 区画ニ且集積地  
 移動ニ関シ 尚カシモ 援助ヲ与フルニ  
 軍需品ノ交付等ニ関シ 一六六 持事及展望

陸軍省 文庫

0341





抄長

連筆

21-

陸軍

陸軍

七、沿防作第ニ五號

七、沿防作第ニ五號

十二月二十一日

一、沿防作命第九五號ニ依リ戰場補給隊義

勇軍中、東亞興産、丸一組、台湾鉄工所屬員又

才第三號、發令後一時軍經理部出張所ヲ余

ノ指揮下ニ入ラシメラル

二、余ハ前項所屬員ヲ併セ指揮シ防衛ニ任セントス

三、第二中隊長ハ東亞興産、丸一組所屬員ヲ併セ

指揮シ依然現任務ヲ續行スヘシ

四、第三中隊長ハ才第三號、發令後軍經理部出

張所ヲ一時指揮スヘシ

五、守備隊本部指揮班長ハ台湾鉄工所屬員ヲ併

セ指揮スヘシ

六、細部ハ別ニ示ス

七、沿防守備隊長代理 服部少佐

0343

下達法 要旨口達後筆記交付

配布先 各隊

報告(通牒)先 防衛司令部 戦場補給隊

義勇軍司令 軍經理部出張所 船舶廠

東京小津站

0344

46

「セブ」沿岸防作命第ニ二號

「セブ」沿岸守備隊命令

十二月十九日 一三三〇

一 沿岸守備隊ハ陣地強化、海軍經理部、一部ヲ

協力セシメラル

ニ 沿岸守備隊ハ軍經理部、一部ヲ以テ陣地ハ強

化セントス

三 第一中隊ハ軍經理部、一部、協力ヲ得テ陣地、

強化ヲ圖ルベシ細部ハ相互協定スヘシ

「セブ」沿岸守備隊長代理 服部少佐

下達法要旨口達後筆記交付

配布先 第一中隊 軍經理部 第二中隊

提出先 旅 司令部

十二月十九日 小沢



0345

セブ沿岸防作命第二十三號

セブ沿岸守備隊命令

十二月十九日一三三六

一沿岸守備隊 第一中隊主力ハ尚船作命甲第

二五六號ニ基キ原所屬ニ復級セシメラル

二沿岸守備隊ハ前項ニ基キ部署ノ一部ヲ変更シ

陣地強化ニ遺憾ナカラシメントス

三第二中隊長ハ第一中隊ノ残部ヲ併セ指揮シ

陣地強化ニ任ズベシ 軍經理部、一部ハ依然

協カスル等

四第一中隊ハセブ出發ニ周シテハ後命ス

セブ沿岸守備隊長代理 服部少佐

下達法要旨口達後筆記交付

配布先 第一、第二中隊、軍經理部

提出先 旅 司令部、セブ支部

トシリヒ、ヨシヨシ  
よあ

0346

尚絨残作命第三號

尚集團経理部残留隊命令

一月七日

一 尚集團経理部ハ現地自活強化ノタメボホール島ヨリ

糧秣ヲ搬入セントス

二 尚集團経理部セブ出張所長ハ自隊保有ノ舟艇ヲ以テ

ボホール島タクビララン大同貿易局保管糧秣ヲ搬入スベシ

右糧秣ノ處置ニ就テハ別命ス

三 搬入ノ細部ニ関シテハ大同貿易局ト密ニ連絡実施スベシ

尚集團経理部長代理

上野 大尉

下達法 印刷配布

報告先 軍短

たお

0347



軍事機密

セブ防作命第二八號

防衛命令

一月三日〇九〇〇  
比島、セブ、  
丁

一、マクタン守備隊長、建築勤務第三十七中隊一部（長以下五名）  
ヲ現在地ニ残置シテ速カニ在天山、建築勤務第三十七中隊、小野中尉  
ノ指揮ニ時復歸セシムヘシ

二、右復歸ノ期間ハ二月十日迄トス

三、小野中尉ハ第一項兵力ヲ併シ指揮シ現任務ヲ續行スルト共ニ  
特ニ道路補修ヲ速カニ完整スヘシ

防衛司令官 万城目大佐

下達法 要旨口達後印刷交付

配布先 軍經理部、セブ出張所、マクタン守備隊長

建築勤務第三十七中隊、小野中尉、貨物支廠

報告先

35A 根

0349

所長

連帯

40

高経セ出作命方五号

尚集團經理部セ出張所命令

二〇、一、一〇  
能セア

一 出張所ハ尚集團經理部ノ指示ニ基キ現地自給  
計画ヲ急速ニ実施セントス

二 給養人員三〇〇名ノ食糧、衣食、代用品並ニ計画蔬菜

三月後ニ於テ自給ヲ自途トス

三 耕作面積ハ概テ次ノ如シ

一 蔬菜園 五畝 現立農園 至急整備

又 甘藷畑 二畝 南畑一次 一月中完成

又 マイヌ畑 三畝 合 方二次 二月中完成

四 松林囃子ハ堀口軍曹以下ヲ急遽ニ前名項任

務ヲ担當實施スルニ

五 細部ニ関シハ別ニ指示ス

0350





杉山

尚経セ出作ノ命ヲ七号

尚集團経理部セ出張所ノ命令

二〇、一、一五  
於セ一、一五  
ア

一 出張所ノ経理部一現地自派ノ方針ニ基キ

ブリ 椰子 澱粉ヲ採集セントス

二 大宅嘱託ハ左記要領ニヨリ出張所ノ業ヲ

担任実施ス

右記

一、ブリ 椰子 伐切ハ五十本トシ現地ニ於テ切取

シテ出張所ニ輸送シ原料採集ノ上総養

班ニテス

又、作業員ハ左ノ内ヲ充テス

組員五名(中村、松本、前田、山本、若林)

村、若林、前田、山本、若林

宮内 国雄、中平 力三、若林 山、常、松

陸軍

0352



陸軍

セブ防作命第一五四號

防衛命令

七月二十五日一五、三〇  
比島ヲヤブ

一尚貨物支廠ハヤテ軍需品ノ緊急集積移轉ヲ企圖ス

二左記諸隊ハ各々自動衛車(運轉兵ヲ附ス)ヲ尚貨物支廠

ニ差出シ協力スヘシ

協力期間ハ約十日間ト予定ス

左記

鬼頭部隊 一輛

第百三師團連絡所 一輛

大西部隊 二一三輛

軍經理部セブ出張所 三十四輛

防衛司令部 一輛

防衛司令官 万城目大佐

43

正  
本  
三  
週  
間

0354

下達法  
口達

配布先  
鬼頭部隊  
第百三師團連絡所

大西部隊  
軍経ヲ  
出張所

報告先

33A

東京  
小津  
橋

0355

44

(申)

寫

制

一月三日

防作命第一五〇號

防備命令

一、道南勤務第三十中隊小野中尉、新三理評計載

勤者第四中隊人員約二十名、五ヶ所、貨物支廠、

着、併、一部、同業、共カラ、大西部隊、

ヲ受ケルムヘシ

二、大西部隊、是ハ右人員ヲ以テ陣地構築ヲ續行スヘシ

三、細部ハ別ニ指示ス

防備司令官

城田大佐

下達法 電話復却別交付

配布先 小野中尉 貨物支廠 大西部隊

報告先 354

陸軍

0356

計長

遊帯

41

セブ防作命第百六號

防衛命令

十月三十日  
北島セブ

一、在マクタン島飛行場設定隊三枝技師以下

二十八名、沿岸守備隊長(服部少佐)ノ指

揮ニ入ルヘシ

二、細部ハ相互密ニ連絡スヘシ

防衛司令官 乃城 大佐

下達法 筆記交付

配布先 沿岸守備隊長 飛行場設定隊三枝技師 マシン守備隊長

軍経理部セブ要領所

報告先 35

陸軍

0357

東京 小笠原

尚七作命下第九號

尚集團命令

尚自動車廠長ハ左記如ク燃料ヲ補給スベシ

左記

一月三十一日一七・〇〇  
下

部隊用品

揮發油 (二〇〇立入)

石油 (二〇〇立入)

摘要

尚貨物廠

六〇

軍經セテ出張所

六

第十四陸軍病院

三

連給官事務所

二

合計

七一

六

尚集團長 鈴木 宗作

下達法 取旨口達後筆記交付

配布區分 尚命 尚命 軍經出張所 一四陸病 連給官事務所

兵器部

0358



抄表

連帯

47

セブ防作命第一三三號

防衛命令

二月一日。九〇〇  
比島セブ

一 在マクタン島建築勤務第三十七中隊第一小隊ノ

一部(人員五名及資材)ハ速カニ原所屬ニ復歸

スヘシ

ニ細部ハ別ニ示ス

防衛司令官 乃城目大佐

下達法 電話

配布先 建築勤務第三十七隊第一小隊長 マクタン守備隊長

軍総司令部出張所長

報告先

35A

ニルニルニソク

たお

東京小津結

陸軍

0359

抄表

電報

セハ

セブ防作命第百六十五號

防衛命令

二月九日  
島セブ

シヨクシヨクシヨク  
シヨク

陸軍

一、防衛司令部ハマクタン島ニ対スル敵機ノ行動ニ鑑  
ミ同地ニアル航空不適燃料ヲ分散セシメ戦力ノ保  
持増進ヲ期セントス

二、マニラ航空廠第九号張所長ハ航空不適燃料  
(約七〇〇本)ヲ速カニ別記配當区分ニ基キ委託  
分散スヘシ

三、被配當部隊ハ配當区分ニ依リ速カニ受領シ保  
管ニ方リテハ万全ヲ期スヘシ

且之カ使用ニ関シテハ其ノ都度防衛司令官ノ  
許可ヲ受クヘシ

四、輸送ニ関シテハ特ニ対空行動ニ遺憾ナキヲ期ス  
ヘシ

0360

後  
ニ  
ヨ  
キ  
本

配當区分表

委託保管部隊	溝口部隊	服部部隊	鬼頭部隊	大西部隊	軍経セツ芝張所	貨物支廠
数量	一〇〇	一一〇	二〇〇	七〇〇	八〇〇	一〇〇
現在保管数	三八	九五	一五〇	一一	〇	〇
マシヨリ引取数	六二	二五	五〇	五九	八〇	一〇〇

防衛司令官 乃城目 大佐

下達法 筆記交付

配布先 マシヨリ航空廠第九芝張所外被配當部隊

報告先 35A

東京小津結

0361

尚セ依命丁第一三號

尚集團△叩令

二月一日 一五〇〇  
五  
ブ

一、尚自動車支廠長ハ陣地内貯水用トシテ  
左記ノ通り空ドラム缶ヲ補給スベシ

九 記

部	隊	名	補	給	数	部	隊	名	補	給	数
尚	司	令	部		二	五	服	部	部	隊	一
七	八	旅	司		一	〇	七	八	旅	作	業
七	三	大	隊		五	五	全	通	信	隊	六

0362

海軍輸送第八大隊	一	リ	臨時建築勤務三中隊	二	ロ
第十四陸軍病院	七	ロ	ビヤ憲兵六隊	一	四
第三野戦飛行場設置部	五	七	ガ兵站支部	一	ロ
尚兵器廠	三	義	男軍	二	ロ
尚貨物廠	八	合	計	五	五
尚自動車廠	三			七	

尚佳木園長 鈴木宗作

下草法 筆記文件  
 配布区分 尚命、被褥給部隊

0363

尚セ經作命第二號

二月五日一三〇。

尚集團經理部命人シ

一尚セ作命丁第十八號ニ基キセブ主陣地内

尚自動車廠ニ於テドラム並格納洞窟庫

ヲ構築セントス

ニセブ出張所長ハ臨時建築勤務第二中隊ヲ

以テ速ニ前項工事ヲ担任實施スベシ

三洞窟工事ハドラム並五〇本ハ四個トシ使用部

隊ト密ニ連繫實施スベシ

尚集團經理部長 平井大佐

下達法 筆記セルモツ交付

配布先 セブ出張所 參謀部

0364

尚七作命一第六號

尚八集團命令之

二月五日ハロウブ

尚經理部長ハセ下經理部出張所ノ一部ヲ以テ

セブ主陣地内自動車廠洞窟作業ヲ實施ス

ベシ

細部ハ相互協定スベシ

尚集團長 鈴木宗作

下達法 口達後筆記交付

配布區分 經理部、司令部、經理部出張所

陸軍

0365

52

尚セ	經	作	命	第	四	班
尚	集	團	經	理	部	命
セ	ブ	出	張	所	長	ヲ
セ	カ	ス	ベ	シ		
陸	軍	技	師			
中	島	智	喜			
經	理	部	ニ	於	テ	勤
陸	軍	主	計	官		
山	田	敏	革			
セ	ブ	出	張	所	長	ヲ
建	築	勤	務	第	三	十
中	隊					
第	一	小	隊	ニ	對	ス
ル	区	處	ヲ	解	ク	
尚	集	團	經	理	部	長
五	井	大	佐			
下	達	法				
筆	記	セ	ル	モ	ク	付
配	布	先				
セ	ブ	出	張	所	の	野
隊						
參	謀	部				

陸軍

0366



53

陸軍

尚七 總司令部 第四班	尚集 團經理部 命令	陸軍技師 中島 智喜	セブ 出張所 長 免ズ 經理部 於テ 勤	秀カ スベシ	ニ 陸軍 主計 少尉 山田 敏 平	セブ 出張所 長 命令ズ	ニ 出張所 長 建築 勤秀 第三 中隊	第一 小隊 二 井スル 区 處ヲ 解ク	尚集 團經理部 長 平井 大 佐	下 達 法 筆 記 セル モ チ 文 付	配 布 先 七 班 出張所 野 隊 参 謀 部
-------------	------------	------------	----------------------	--------	-------------------	--------------	---------------------	---------------------	------------------	----------------------	-------------------------

陸軍

0367

尚書作命 下第 第三十二號

尚集團命令

二月五日 一七〇〇

- 一、集團ハ玉兵團ノ戦力ヲ強化セントス
- 二、尚兵器廠長、尚偵物廠長ハ別紙第一、第二、第三、  
軍需品ヲ玉兵團ニ補給スベシ
- 三、軍經理部「セム」出張所長ハ円匙六〇〇、十字鍬二〇〇ヲ  
玉兵團ニ補給スベシ
- 四、補給、細部ニ關シテ相互協定スベシ

尚集團長 鈴木宗作

下達法

要旨口達後筆記交付

配布區分

玉兵團、  
 經理部、  
 軍醫部、  
 軍需部、  
 軍經理出張所、  
 兵器部、

軍務部

所長

連帶

戦補任命第三一號

戦場補給隊命令

二月七日  
比島セブ

一ノ第(一)号解除

注意事項

一ノ第(一)号解除後、雖各隊ハ戦半準備ノ完  
成並ニ氣分ヲユルメザル事ニ萬遺憾ヲキラ期スルコト

戦場補給隊長 矢木中尉

下達後筆記多付

教達先防衛司令部

配布先義勇軍隊長、軍經理衛生小隊

陸軍

東京 小津納

0369

尚七作命丁第三十六号

尚集團命令

二月十一日一二四〇

一、集團八天山ニ第二戰隊司令部所收容施設ヲ新設セントス  
二、集團經理部ツセガ出張所長ハ新員工事ヲ担任資員施

現在仕負物敷ニ勤務方中ノ分隊ヲ  
轉用スルヲ可トス

隊ヲ以テ前項工事

四、工事及竣工期限ハ別紙ニ依ルベシ  
五、細部ハ相互協定スベシ

尚集團長 鈴木宗作

下達法 筆記交付

配布先 尚経口出張所、小野隊、經理部

0370  
0371

尚七作命丁第三十六号

尚集團命令

二月十一日一二四〇

一、集團八天山ニ第二戰闘司令部所收容施設ヲ新設セントス  
ニ、集團經理部ニセカ出張所長ハ前項工事ヲ担任資員施

スベシ

三、建築勤務第三中隊第一隊長ハ一々分隊ヲ以テ前項工事  
ヲ援助スベシ

四、工事及竣工期限ハ別紙ニ依ルベシ

五、細部ハ相互協定スベシ

尚集團長 鈴木宗作

下達法 筆記交付

配布先 尚経口出張所、小野隊、經理部

0370  
0371

留作命一第廿六号別紙

陸 軍

一、工事ハ司令所收容施設堀建假小屋小型三

中型二大型一(收容力計概不三。名トシ炊事(厨ヲ附ス)

及上通信要員一〇〇名分兵舎及假倉庫トス

二、竣工期限ハ幕僚室及通信假倉庫ヲ第一次トシ

二月二十日迄トス

0372

部長

進部

高集の著作 命第 世号

高集 團全理部 命第 張計 命令

一 出張計 命第 命第 丁 命第 二十六号 其王ギ天山

二 命第 二 戦 計 司 令 計 収 案 旅 設 ヲ 急 速 ニ 構

築セシラス

二 牧野 技手 命第 田 雇 員 以 下 八 名 ヲ 指 揮 建 築 事

勤 務 命 第 三 十 七 中 隊 命 第 一 小 隊 二 十 五 分 隊 ヲ 當 手 指

二 前 項 工 事 ヲ 担 任 完 結 候 迄

三 前 項 工 事 命 第 一 別 紙 二 條 期 限 八 二 月 二 十 日 迄 卜 ス

四 細 部 二 周 二 別 紙 二 指 示 卜 ス

高集 團 経 理 部 命 第 張 計 長 山 田 少 尉

一 達 法 以 達 後 即 刷 字 付

陸 軍 省

東京 納川助

0373

別紙

一、事務用紙の収容施設増進假令庫小型

三、中型二、大型一、収容力計概不三〇

名トシ物事一割ヲ附ス、及ニ通信委員一〇〇

名トシ兵食及假令庫ノ数トス

六、竣工期限ハ首節標準室及通信假令庫ヲ

第一次トシ二月二十日迄トス

0374



尚

尚せ作命丁第四〇號

尚集團 命令

二月二十日〇八〇

送

一 防衛用彈藥輸送ノ爲左記、通セ防衛司令部  
ニ差出スベシ

左記

一 尚自動車廠及軍經理部セ出張所ヨリ自動貨車  
又〇、二 (運轉兵附ス)  
ス、差出期間 三日間  
差出ノ細部ハ相互協定スベシ

尚集團長 鈴木宗作

下達法、筆記交付

配布區分、防司令部、軍經出張所、兵器部、經理部

0375

可長

尚也經作命第六拜

尚集團經理部命令

二月十九日五〇〇

セブ出張所長、尚也經作命第二拜ニ

基クセブ主庫地内尚自動車廠ドラム志格

納洞窟庫ラ更ニ三・本八五増築スベシ

尚集團經理部長 平井大佐

ト運送 筆記文付

配布先 セブ出張所 福建ニ申

0376

尚集

尚セ作命下第三九號

尚集團命令

二月二十日

連年

- 一、集團ハ天山ニシテ防衛司令部ノ戦闘司令部所施設  
ヲ新設セントス
- 二、集團經理部「セ」出張所長ハ尚セ作命下第三六號
- 三、三事ニ引續キ前項工事ヲ担任實施スベシ
- 三、建築勤務第三七中隊第一小隊長ハ一部ヲ以テ前項  
工事ヲ援助スベシ
- 四、細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ指示セシム

尚集團長 鈴木宗作

下達法 筆記交付  
配布先 如防司 尚経ヲ出、小野隊、經理部

0377

軍令部

真作命等二部

南方第十四陸軍病院命令

二月二十日〇八〇〇

一セフ防衛司令官ハセフ防衛諸隊ノ衛生補助員ノ急遽

養成ヲ企圖セラレ部隊ニカ教育ヲ下命セラル

二部隊ハ左記ニ依リ前號教育ヲ實施セントス

教育期間 自二月二十二日 至三月十日

教育内容 概テ部隊附衛生勤務ヲ遂行シ得ル程度

三教育科長ハ二月二十二日〇八〇〇本院表附近ニ於テセフ

防衛諸隊ヨリ差出ス被教育員一名ヲ受領シ別紙計

画ニ基キ本院ニ於テ教育ヲ實施スヘシ

四左記上段將校ハ教官トシテ下段下士官ハ助教トシテ夫々

教育ヲ担任スヘシ

富士原少尉

今井軍曹

河野見習士官

南里伍長

0378

提 伍長

五、各科長ハ、前辦教育ニ関シ、所票ノ援助協力スヘシ  
六、其ノ他細部ハ、教育科長ヲシテ指示セシム  
七、予ハ、山塞病院本部ニ在リ

病院長、真田中佐

下違法 命令受領者ヲ集メ、口達筆記

配布分 空種地上領部隊、沿岸守備隊、マラソン守備隊、ヨソイ守備隊

ハッソン守備隊、戦場補給隊、旅團通信隊、旅團作業隊

ビヤ憲兵隊本部、セツ憲兵分隊、第三飛行場設可、建築勤

務第三十七中隊、貨物支廠、兵器支廠、軍経セツ出張所

報告先 高集團司令部、同連隊部、南方軍兵站監、防衛司令部

本隊各科  
山塞各隊

0379

補助衛生兵要員

週別  
計  
自  
二月二十八日  
至  
三月八日

課目

精神教育 三

進  
現時局衛生部員  
一  
度  
手達

衛生法急救法 九〇

總說 伝染病、原因、種類  
並ニ其法定伝染病其他  
伝染病

外傷疾病急救法 〇

外傷創、種類及後候  
創、經過、感染及処置  
通説、耳斯、性状及特性

耳斯防護 〇

季節及氣象地帶、影響  
伝染病、種類、原因及伝染経路

処置消毒 〇

主ニ伝染病ニシテ、赤痢、傷寒、  
瘧疾、霍乱、チフス、猩紅熱、等

繃帶術 三

繃帶、効用及其、応用  
其、繃帶材料、種類及  
其、応用

豫備 二

合計 〇

備本表外ニ砲爆撃下ニ於ケル戰線救護、要領

芳篠右の字施ス

63

# 一育豫定表

自 至

三月八日

至

三月九日  
三月十六日

進

度

進

度

進

## 肉親的看護

其他注意スル諸病上血路  
病副不繙帶表使用法術等  
世創傷伝染病

創園消毒劑消毒法等  
消毒薬新薬材料消毒等  
人使用法、領要  
各個防護果園防護物  
科防護散毒地、制毒

流行性腦脊髄膜炎、ペスト流行  
性感冒、マラリア、肺結核、トキソミア  
水痘、病チチ、熱  
繙帶時、注意、巻軸  
繙、用法、巻方、種類、各

四

担架標法、急造担架製作要領等、間

## 衛生部員必勝信念

三箇中、使用スル、呼吸、吸器、等

少血、種類、徴候  
少血、処置  
軍隊ニ多キ、其他、外傷

耳新傷害人馬、救急  
消毒、種類、方法  
消毒薬、製法

巻方、実修

三

二

八

高軍製作命令第八号

高集團經理部セウ出張命令

ニのニ  
一  
セ  
ブ

一、出張所ハ高軍製作命令第八号ニ基キ天山ニセブ防務

司令部戰鬥司令部施設ヲ速ニ構築セントス

二、牧野技手ハ前田雇員以下ハ右ヲ指揮建築勤務

第三十七中隊第一小隊ノ一部ヲ掌握シ前項ノ事ヲ担

任實施ス

三、細部ニ關シテハ別ニ指示ス

下達法 臣達後印刷交付

陸  
軍

(納增富・阪大)

0382



尚セ作命通第一二號

尚集團命令

二月二十六日ニヨ。

軍經理部出張所長ハ比島電政隊セブ支隊長ニ五  
ギロワット發動發電機一式ヲ交付スヘシ

尚集團長 鈴木宗作

下達法 筆記交付

配布先 軍經出張所 電政隊軍通

0383